

2022年5月27日

株式会社やまや

2022年3月期

決算説明資料

2021年4月1日～2022年3月31日



宮城県仙台市宮城野区榴岡3丁目4-1

アゼリアヒルズ19階

022-742-3114(経理部)

FAX 022-742-3100

第1部：連結 2022年3月期の業績

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、2022年3月期の売上高については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同期増減率は記載しておりません。

連結 2022年3月期 実績

●連結 2022年3月期 実績

- 売上高 1,434.2億円(前期は 1,500.0億円)
- 営業利益 6.4億円(前期は △2.5億円)
- 経常利益 87.8億円(前期比 510.4%)
- 親会社株主に帰属する当期純利益 44.0億円(前期は △79.7億円)
- EBITDA 102.6億円(前年同期比 204.9%)

※EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費
+のれん償却額

単位(百万円)

項目	2021年3月期(前年)		2022年3月期(当年)					
	実績	構成比	修正業績予想	構成比	実績	構成比	予想比	前期比
売上高	150,003	-	147,000	-	143,420	-	△2.4%	-
売上総利益	38,970	25.9%	-	-	35,007	24.4%	-	△10.1%
販管費	39,221	26.1%	-	-	34,364	23.9%	-	△12.3%
営業利益	△251	-	2,000	1.3%	643	0.4%	△67.8%	-
経常利益	1,438	0.9%	8,600	5.8%	8,781	6.1%	+2.1%	+510.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	△7,979	-	4,400	2.9%	4,401	3.0%	+0.0%	-
EBITDA	3,366	0.2%	-	-	10,264	7.1%	-	+204.9%

セグメント別 2022年3月期 実績

●酒販事業 2022年3月期 実績

- 売上高 1,316.0億円(前期は 1,348.5億円)
- 営業利益 49.1億円(前期比 $\Delta 21.1\%$)

●外食事業 2022年3月期 実績

- 売上高 121.3億円(前期は 157.6億円)
- 営業利益 $\Delta 42.8$ 億円(前期は $\Delta 64.9$ 億円)

※酒販事業の月別売上・客数推移については16ページをご覧ください。

単位(百万円)

項目	2021年3月期(前年)				2022年3月期(当年)					
	酒販事業		外食事業		酒販事業			外食事業		
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	前期比	実績	構成比	前期比
売上高	134,857	-	15,764	-	131,605	-	-	12,133	-	-
売上総利益	28,638	21.2%	10,388	65.9%	27,087	20.5%	$\Delta 5.4\%$	7,965	65.6%	$\Delta 23.3\%$
販管費	22,411	16.6%	16,879	107.1%	22,173	16.8%	$\Delta 1.0\%$	12,247	100.9%	$\Delta 27.4\%$
営業利益	6,227	4.6%	$\Delta 6,490$	-	4,914	3.7%	$\Delta 21.1\%$	$\Delta 4,282$	-	-

チムニー(株)決算数値と当社連結時の数値の相違について

2021年3月期 第3四半期において、当社の連結子会社であるチムニー(株)に係る「のれんの減損損失」を64億2百万円計上いたしました。

この「のれんの減損損失」は、連結上の「のれん」に対するものであり、(株)やまや単体としての経営成績に及ぼす影響はございません。

減損により、年間6億42百万円の償却が、1億50百万円まで減少いたしました。このことにより2022年3月期以降は、のれんの残償却期間である12年あまり(2033年12月まで)に渡って、年間4億92百万円の償却負担がなくなり、同期間中は、連結上の営業利益、経常利益、および親会社株主に帰属する当期純利益を押し上げる効果が見込まれます。

チムニー(株)決算数値と当社連結時の数値の相違について

単位(百万円)

項目	チムニー(株) 決算数値	やまや連結に至る会計処理						やまや 連結 計上数値
	2022年3月期 実績	(注①) 改装閉店損失を特別 損失より営業外費用 へ振替	(注②) チムニー(株) のれん償却費減算	(注③) チムニー子会社化による のれん償却額加算等	(注④) 非支配株主に帰属 する四半期純利益 の計上	(注⑤) 繰上り持分法 投資損失減産	(①～⑤計) 会計処理による調整 額合計	
売上高	10,108	-	-	-	-	-	-	10,108
売上総利益	7,029	-	-	-	-	-	-	7,029
販管費	11,612	-	△470	150	-	-	△320	11,292
営業利益	△4,583	-	470	△150	-	-	320	△4,263
経常利益	3,253	△14	470	△150	-	-	306	3,559
税引前利益	1,049	△0	470	255	-	-	724	1,773
法人税等	△178	-	-	-	-	-	-	△178
非支配株主に帰属 する当期純利益	△0	-	-	-	1,034	-	1,034	1,033
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,227	-	470	255	△1,034	-	△309	918

- 注① チムニー(株)では、改装・閉店損失が特別損失に計上されておりますが、当社会計基準に合わせ、営業外費用へ振替を行っております。
- 注② チムニー(株)実績には「のれん償却」が含まれておりますが、チムニー株式取得による連結のれん算定時の純資産にはチムニー(株)としての「のれん」を含めておりませんので、チムニー(株)としての「のれん償却」を消去しております。(4月～3月で470百万円)
- 注③ チムニー株式取得による連結のれんが128億円計上され、これを20年均等償却としており、償却額は年間6.4億円でしたが、前第3四半期に64億円減損したことに伴い、1.5億円の計上となっております。また、特別損失に計上された投資有価証券評価損404百万円は、前期連結計上済みとなっております。
- 注④ 当社の2021年3月末のチムニー株の議決権比率は51.0%であるため、49.0%が非支配株主持分となります。このためチムニー(株)の当期純利益1,227百万円に、(注②)チムニー(株)のれん償却減算470百万円及び、(注③)に含まれる投資有価証券評価損405百万円を加えた2,102百万円の49.0%である1,034百万円が非支配株主に帰属する当期純利益に計上されます。

連結財務状況 2022年3月期 (バランスシート)

- 総資産 609.7億円 (前期末比 +33.6億円)
- 負債 318.9億円 (前期末比 △13.4億円)
- 純資産 290.8億円 (前期末比 +47.1億円)

単位(百万円)

	'21年3月期 期末	'22年3月期 期末	前期末比
流動資産	32,537	37,540	+5,003
固定資産	25,076	23,437	△1,639
流動負債	28,133	24,762	△3,371
固定負債	5,102	7,130	+2,028
純資産	24,378	29,084	+4,706
総資産	57,614	60,977	+3,363

■ 資産に関するポイント

- ・主な内訳は、現金及び預金137.9億(+51.3億)、商品及び製品158.1億(+1.4億)、のれん21.5億(△1.9億)、差入保証金75.1億(△8.3億)、長期繰延税金資産8.1億(+1.4億)

■ 負債に関するポイント

- ・主な内訳は、短期借入金100.0億(△5.5億)、長期借入金30.5億(+23.5億)

■ 純資産に関するポイント

- ・利益剰余金182.0億(+38.6億)、非支配株主持分16.2億(+9.7億)

連結財務状況 2022年3月期 (キャッシュ・フロー)

単位(百万円)

	'21年3月期累計 (前年)	'22年3月期累計 (当年)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△500	4,441
税金等調整前当期純利益	△9,178	6,842
減価償却費・のれん償却費	1,887	1,376
法人税等の支払	△1,420	△2,453
その他合計	8,211	△1,324
投資活動によるキャッシュ・フロー	△953	△494
固定資産の取得による支出	△1,115	△1,054
その他合計	162	560
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,403	1,180
借入金の増加による収入	5,334	1,950
借入金等の返済による支出	△314	△124
配当金、その他の支出	△617	△646
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額	2,949	5,127
現金及び現金同等物の期首残高	5,714	8,664
現金及び現金同等物の期末残高	8,664	13,791

■ キャッシュフローに関するポイント

<営業活動によるキャッシュフロー>

- ・税金等調整前当期純利益68.4億、減損損失6.5億

<投資活動によるキャッシュフロー>

- ・有形固定資産の取得による支出10.5億
差入保証金の回収9.5億

<財務活動によるキャッシュフロー>

- ・短期借入金5.5億減、長期借入金23.7億増

連結 2023年3月期 業績予想

●連結 2023年3月期業績予想

- 売上高 1,550.0億円(前期比 +8.1%)
- 営業利益 42.0億円(前期比 +552.9%)
- 経常利益 40.0億円(前期比 △54.4%)
- 親会社株主に帰属する当期純利益 20.0億円(前期比 △54.6%)

単位(百万円)

項目	2022年3月期		2023年3月期		
	実績	構成比	業績予想	構成比	前期比
売上高	143,420	-	155,000	-	+8.1%
営業利益	643	0.4%	4,200	2.7%	+552.9%
経常利益	8,781	6.1%	4,000	2.5%	△54.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,401	3.0%	2,000	1.3%	△54.6%

(2023年3月期予想セグメント別)

	酒販事業		外食事業	
	業績予想	前期比	業績予想	前期比
売上高	132,000	+0.3%	24,500	+101.9%

*セグメント間取引消去等により、セグメントの合計値は連結数値とは一致しません。

連結 2022年3月期 業績のポイント

当期のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化したものの、ワクチン接種の進展に伴い、経済活動は一時的に正常化に向かいましたが、新たな変異株による感染拡大に加え、ウクライナ情勢に起因した経済制裁や資源価格の高騰等の影響により、先行きは依然不透明な状況が続いております。

(酒販事業)

前年に引き続き、巣ごもり需要により売上は堅調に推移しましたが、効果が一巡したこともあり、前年の売上には及びませんでした。各自治体の自粛要請が長期化したことで、在宅需要が定着したこともあり、お客様に求められる商品にも変化があり、ノンアルコールや微アルコールなど健康を気にされる方への品揃えが必要となりました。10月には原材料価格の高騰などによる商品の値上げが相次ぎ、家計負担の増加に伴うお客様の節約志向が強まってきました。

「ウイズコロナ」の対応といたしましては、インターネットで事前にご注文を承り、車でご来店していただいて、受け取りができる「やまやドライブスルー」の展開、セミセルフレジへの切り替えを実施しました。

(外食事業)

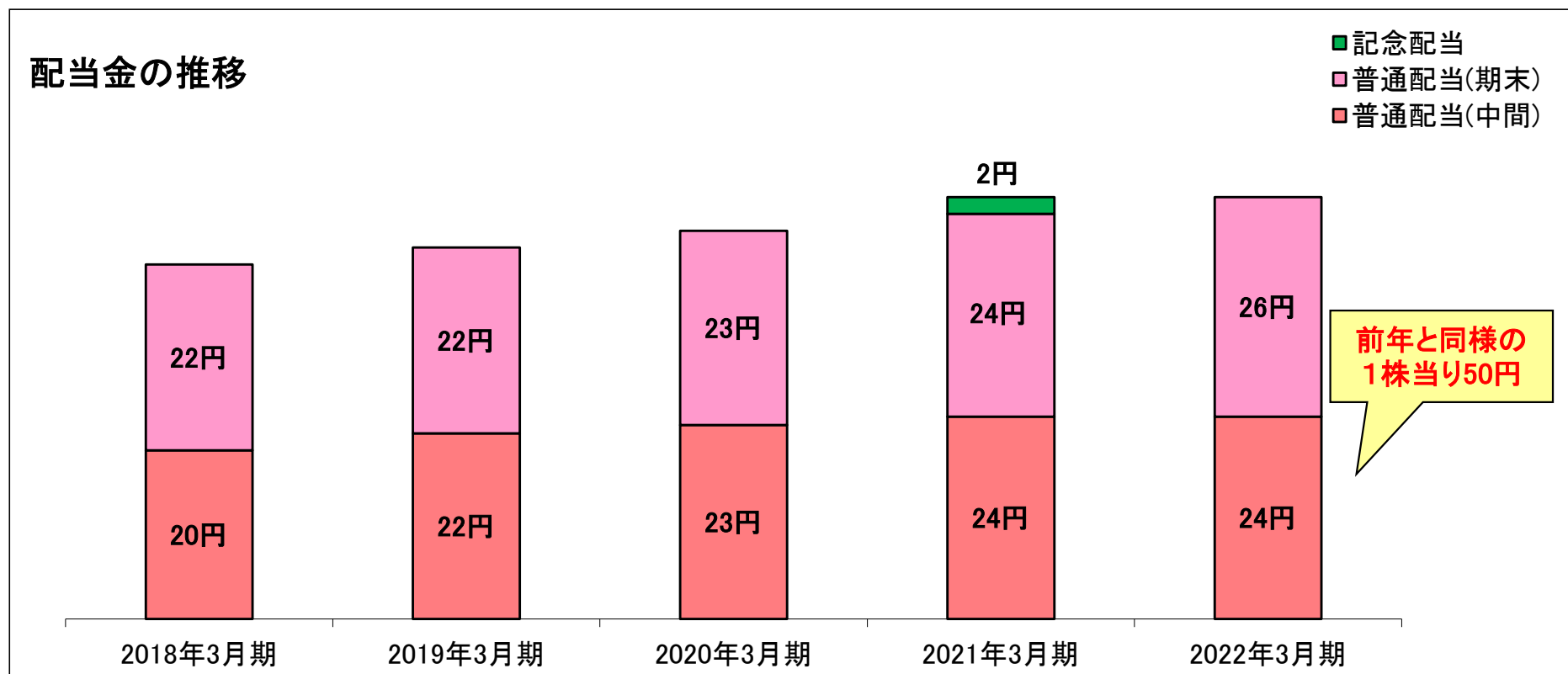
外食業界におきましては、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が9月末で解除された以降、売上高は緩やかに回復していましたが、1月以降、新たな変異株の出現により再びまん延防止等重点措置が適用されることとなりました。また、外出及び会食の自粛、在宅勤務へのシフトに代表される勤務スタイルの変化、お客様の消費行動の変化、原材料価格・原油価格の高騰や人手不足など、業界を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の中、「ウイズコロナ」への対応としましては食事需要及びご家庭での利用に対応するとともに、テイクアウトスペースの設置、テイクアウト及びデリバリーメニューの強化、配膳ロボット、卓上サーバーの導入、スマホオーダーへの対応を進めてまいりました。また、お客様のニーズの変化に対応するため、FC店を中心として、ハイブリット業態(例えば、はなの舞+焼肉牛星など、1店舗の中に2つの業態を取り入れた店舗)の店舗造りを進めました。

引き続き、お客様や従業員の安全・安心を第一として営業に努めるとともに、食事需要及びご家庭での利用にも対応できる業態への転換やメニューの強化に取り組んでまいります。

配当政策について

- 当社は、安定的な配当を継続することが配当政策上重要であると考えております。さらに企業体質の一層の強化と今後の事業展開に備えるための内部留保の充実を勘案して、株主への配当を実施していくことを基本方針とし、中間配当と期末配当の年2回の配当を行うこととしております。
- この方針に基づき、2022年3月期の中間配当を、直近の中間期決算を考慮し、公表済みの配当予想どおり、1株当たり24円といたしました。期末配当については1株当たり26円、合計1株につき50円としております。



業態(屋号)別店舗数について(2022年3月末現在)

＜酒販事業＞	店舗数	うちダイソー併設店舗数
やまや	336	40
業務店・通販	9	0
小計	345	40

＜外食事業＞	店舗数	うちFC店舗数
はなの舞	132	71
さかなや道場	130	36
安べゑ	36	0
牛星	15	7
その他	104	60
コントラクト事業	89	0
チムニー子会社3社	37	0
つぼ八	149	145
伊藤課長等	29	26
小計	721	345

グループ合計店舗数	1,066
-----------	-------

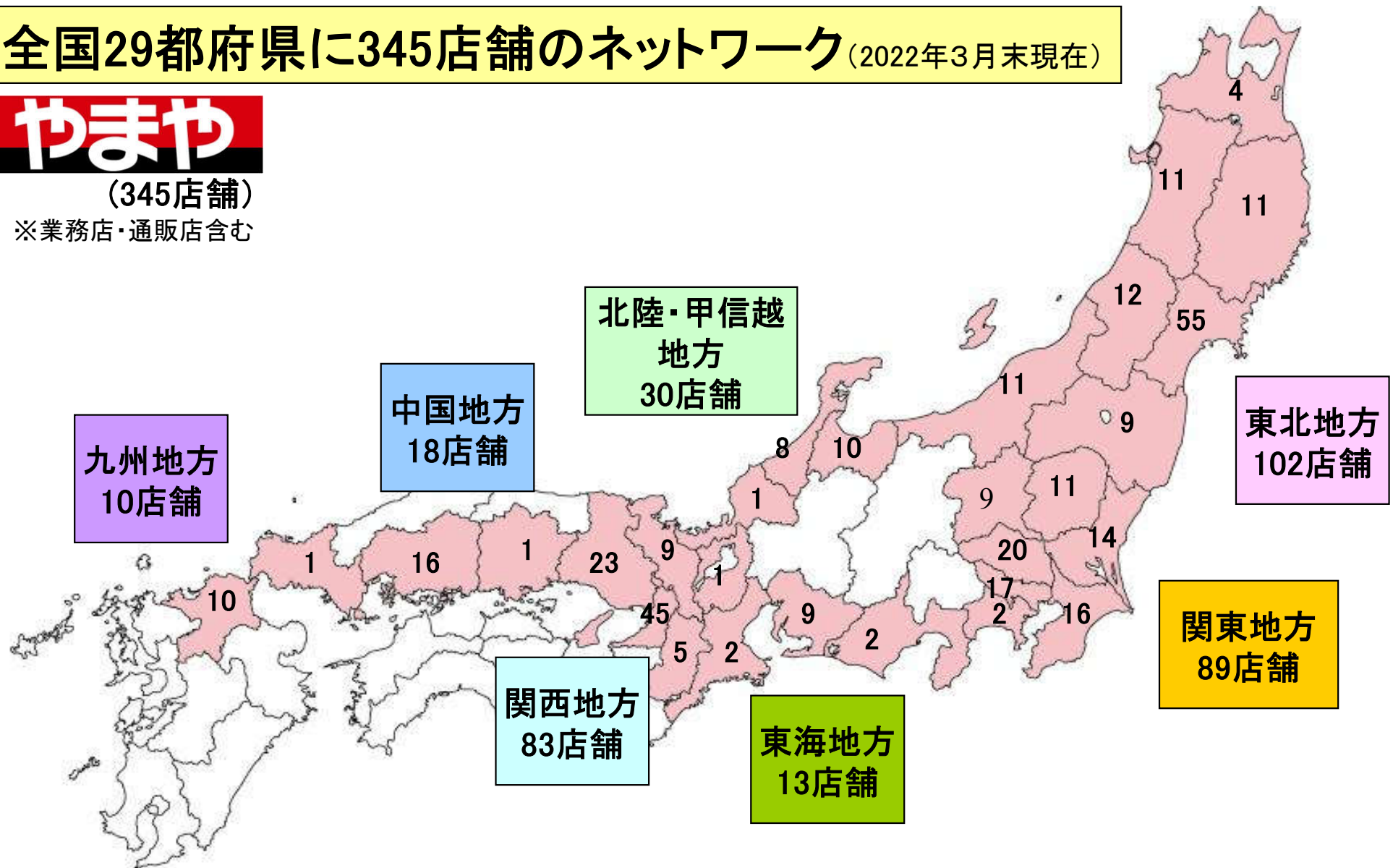
酒販事業 店舗ネットワーク

全国29都府県に345店舗のネットワーク (2022年3月末現在)



(345店舗)

※業務店・通販店含む



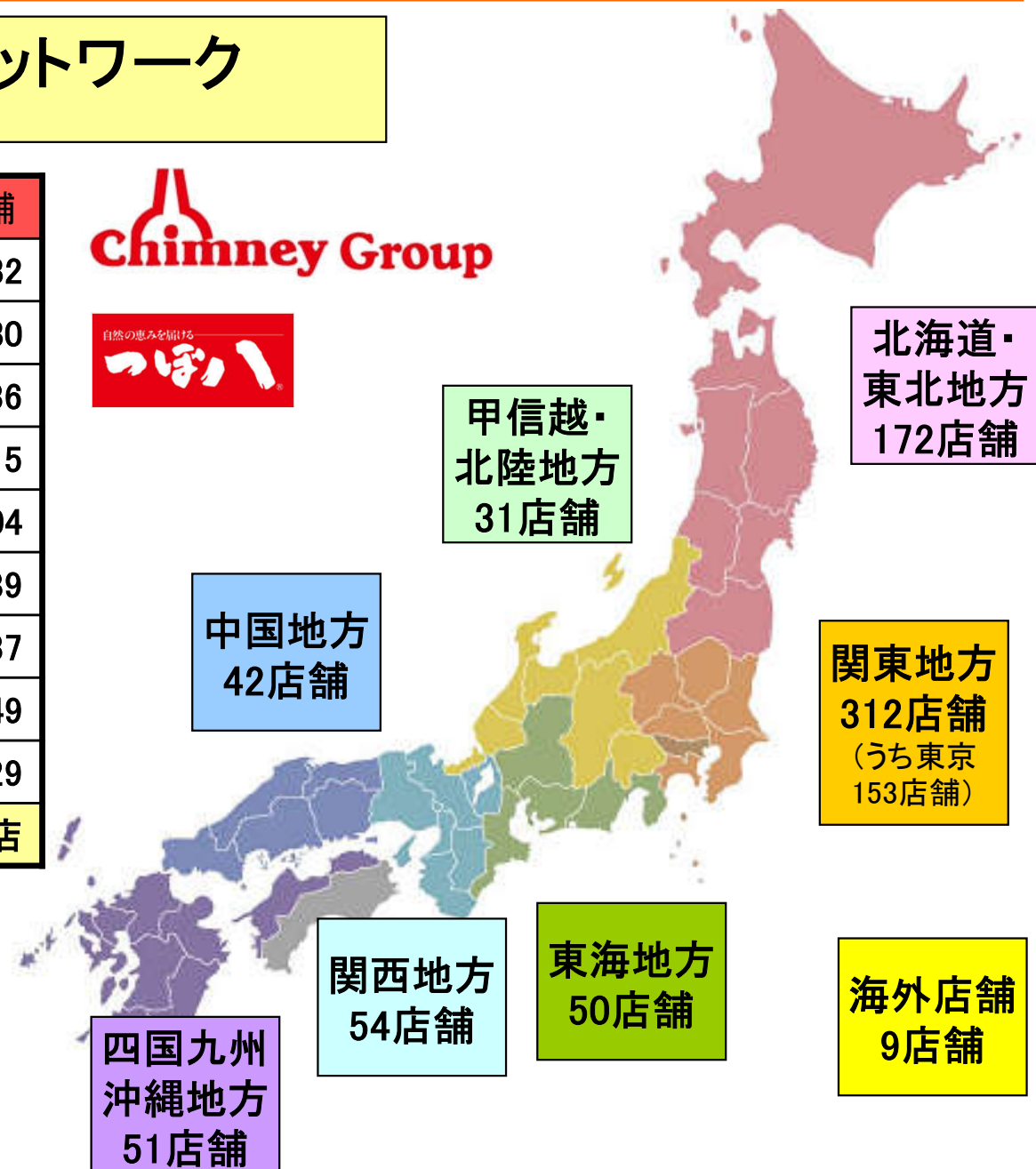
外食事業 店舗ネットワーク

国内外で721店舗のネットワーク

(2022年3月末現在)

	直営店	FC店	総店舗
はなの舞	61	71	132
さかなや道場	94	36	130
安べゑ	36	0	36
牛星	8	7	15
その他	44	60	104
コントラクト事業	89	0	89
チムニー子会社	37	0	37
つぼ八	4	145	149
伊藤課長等	3	26	29
合計	376店	345店	721店

Chimney Group



重要な連結子会社の状況

名称	資本金	議決権比率	主要な事業内容
やまや関西(株)	45百万円	100.0%	酒類・食料品等の小売
やまや商流(株)	38百万円	100.0%	酒類・食料品等の卸売
やまや東日本(株)	10百万円	100.0%	酒類・食料品等の小売
大和蔵酒造(株)	10百万円	100.0%	酒類・食料品の製造及び卸売
チムニー(株)	100百万円	50.8%	居酒屋を中心とした飲食業
(※1)めっちゃ魚が好き(株)	100百万円	50.8%	居酒屋を中心とした飲食業
(※1) (株)紅フーズコーポレーション	10百万円	50.8%	居酒屋を中心とした飲食業
(※1)魚鮮水産(株)	20百万円	42.3%	漁業、鮮魚の仕入及び販売
(※1)大田市場チムニー(株)	5百万円	50.8%	鮮魚・青果等の仕入及び販売
(※2)(株)つぼ八	50百万円	56.0% (34.0%)	居酒屋を中心とした飲食業
(※2)つぼ八酒類販売(株)	10百万円	56.0% (34.0%)	酒類の卸売

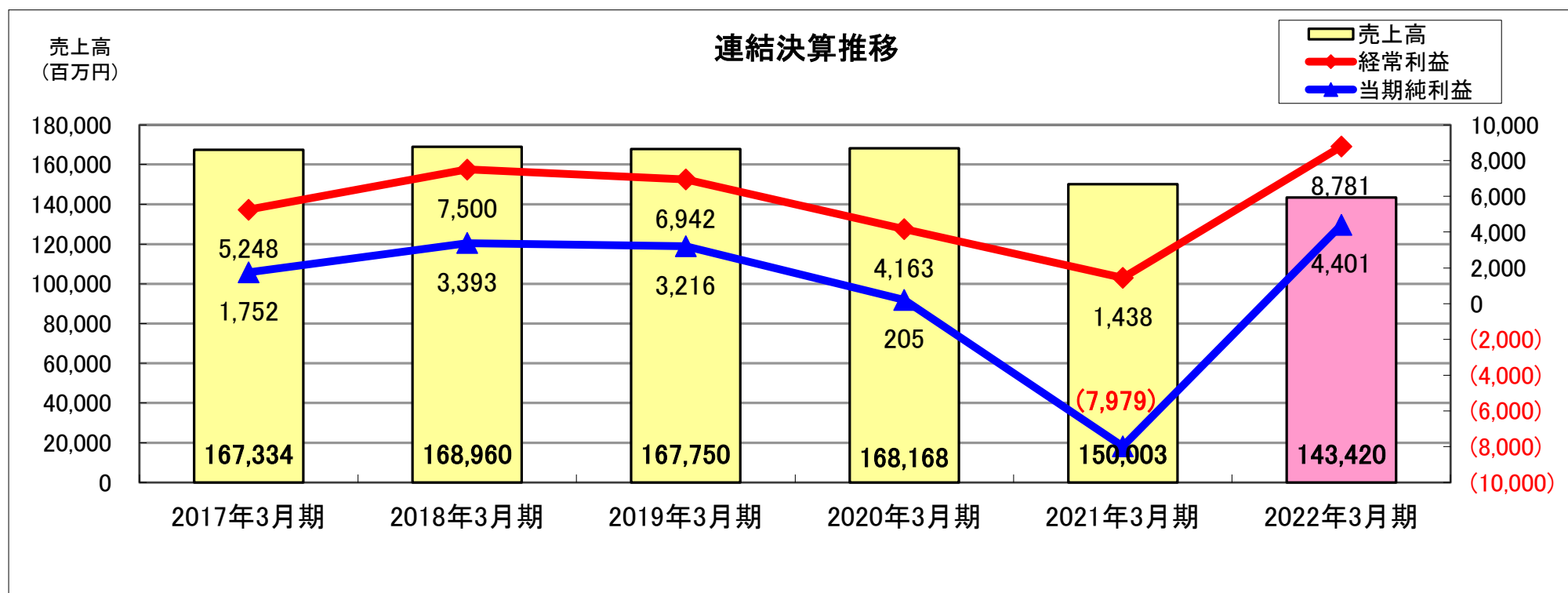
(※1)めっちゃ魚が好き(株)、(株)紅フーズコーポレーション、魚鮮水産(株)、大田市場チムニー(株)の3社はチムニー(株)を通じた間接保有の連結子会社です。チムニー(株)の3社の議決権比率は、めっちゃ魚が好き(株)、(株)紅フーズコーポレーション及び大田市場チムニー(株)は100%、魚鮮水産(株)は83.4%となっており、それぞれに(株)やまやのチムニー(株)の議決権比率50.8%を乗じたものが、これら3社の議決権比率となります。

(※2)議決権比率()内は、当社子会社であるチムニー(株)の保有率です。つぼ八酒類販売(株)は(株)つぼ八を通じた連結子会社です。(株)つぼ八の議決権比率は100%であり、それに(株)やまやの(株)つぼ八の議決権比率56.0%を乗じたものが、つぼ八酒類販売(株)の議決権比率となります。

連結決算推移

単位(百万円)

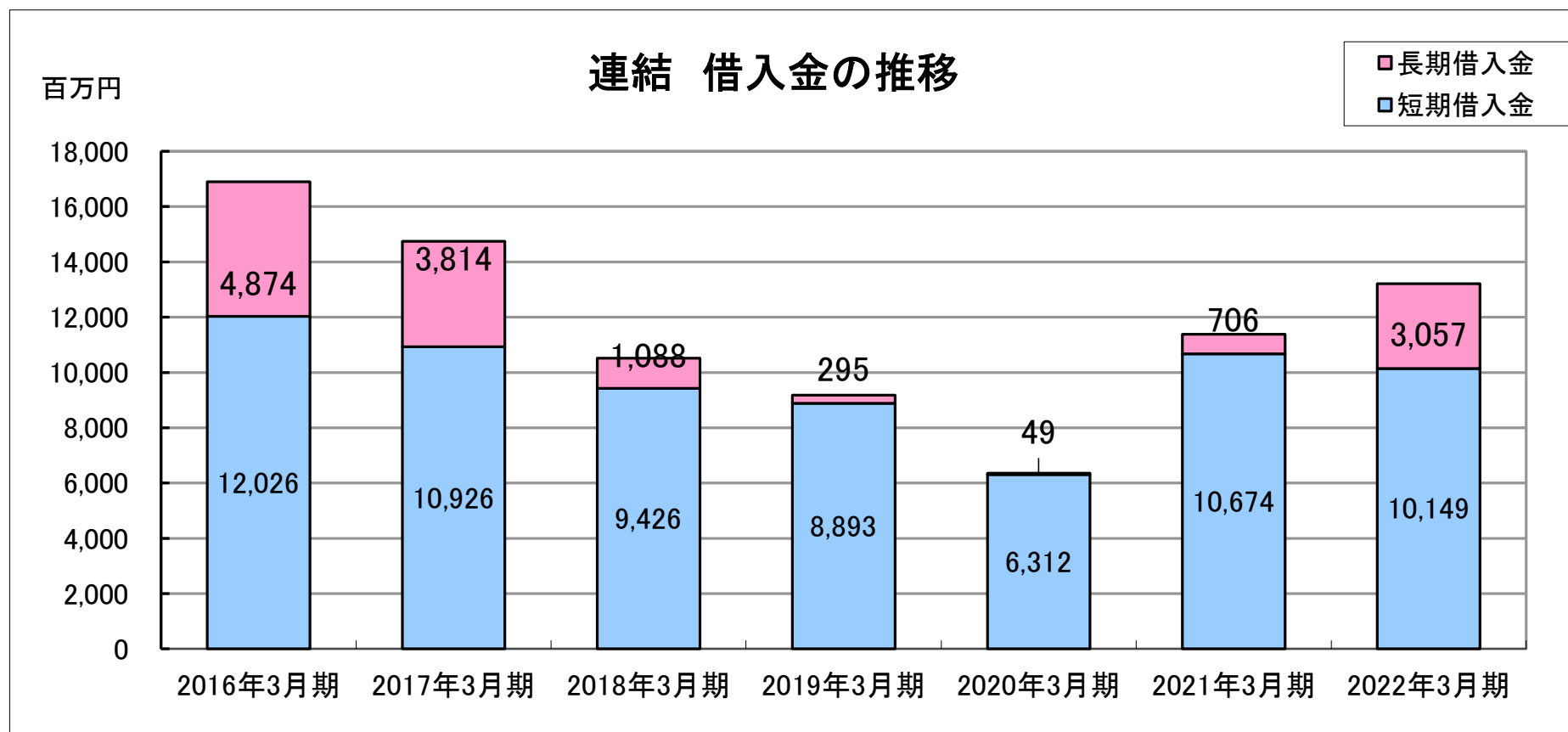
	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
売上高	167,334	168,960	167,750	168,168	150,003	143,420
営業利益	5,255	7,411	6,894	4,163	△251	643
経常利益	5,248	7,500	6,942	4,227	1,438	8,781
当期純利益	1,752	3,393	3,216	205	△7,979	4,401



連結 借入金の状況

単位(百万円)

	'17年3月期	'18年3月期	'19年3月末	'20年3月末	'21年3月末	'22年3月末
短期借入金	10,926	9,426	8,893	6,312	10,674	10,149
長期借入金	3,814	1,088	295	49	706	3,057
合計	14,740	10,514	9,188	6,361	11,381	13,206



第2部:セグメント別 2022年3月期の業績

酒販事業 2022年3月期 実績

●酒販事業 2022年3月期 実績

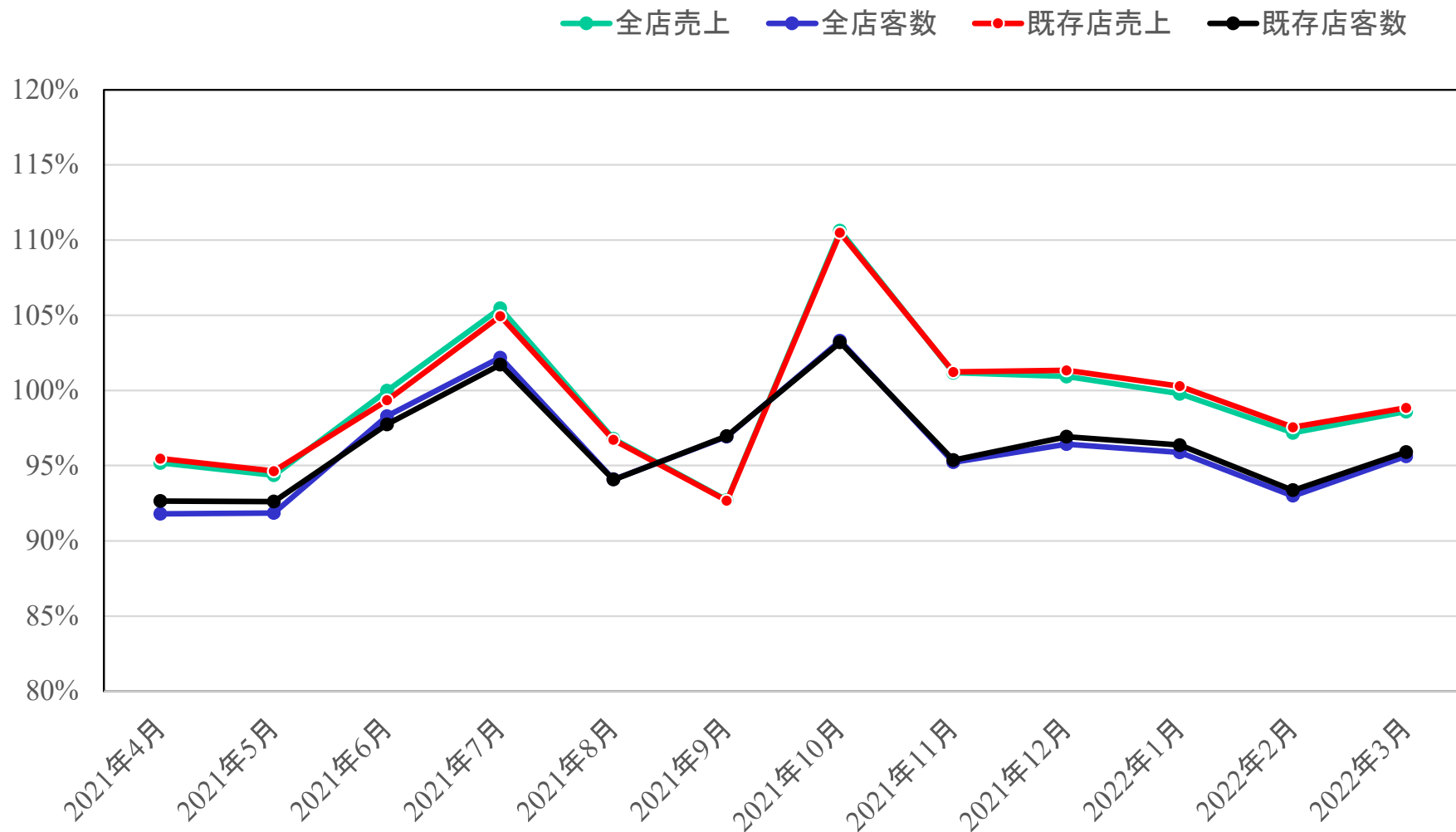
- 売上高 1,316.0億円(前期は 1,348.5億円)
- 営業利益 49.1億円(前期比 $\Delta 21.1\%$)

単位(百万円)

項目	2021年3月期 (前年)	構成比	2022年3月期 (当年)	構成比	前期比
売上高	134,857	-	131,605	-	-
売上総利益	28,638	21.2%	27,087	20.5%	$\Delta 5.4\%$
販管費	22,411	16.6%	22,173	16.8%	$\Delta 1.0\%$
営業利益	6,227	4.6%	4,914	3.7%	$\Delta 21.1\%$

酒販事業 2022年3月期の業績

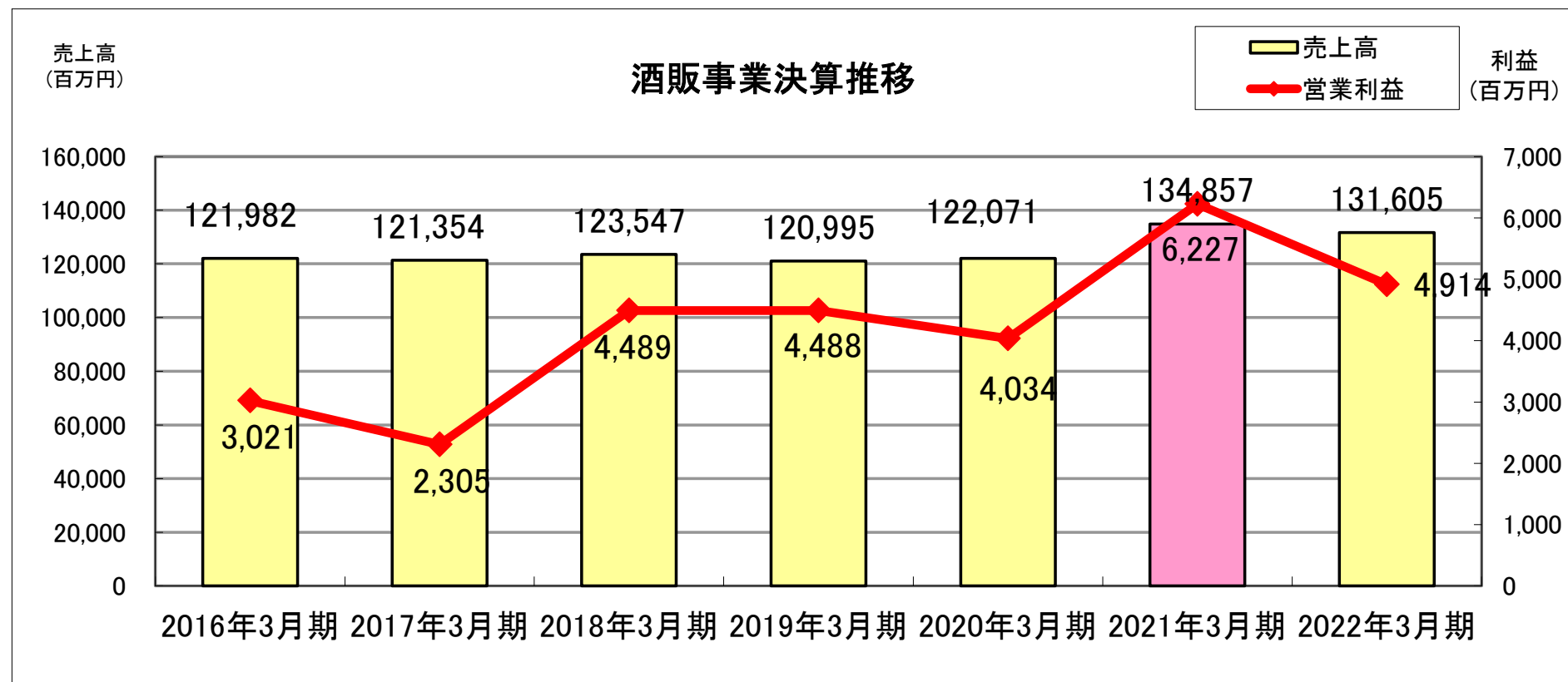
店舗売上及び客数 前年対比の推移



酒販事業 決算推移

単位(百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
売上高	121,354	123,547	120,995	122,071	134,857	131,605
営業利益	2,305	4,489	4,488	4,034	6,227	4,914



酒販事業 財務状況 2022年3月期(バランスシート)

- 総資産 531.6億円 (前期比 +2.3億円)
- 負債 137.6億円 (前期比 Δ 24.3億円)
- 純資産 394.0億円 (前期比 +26.6億円)

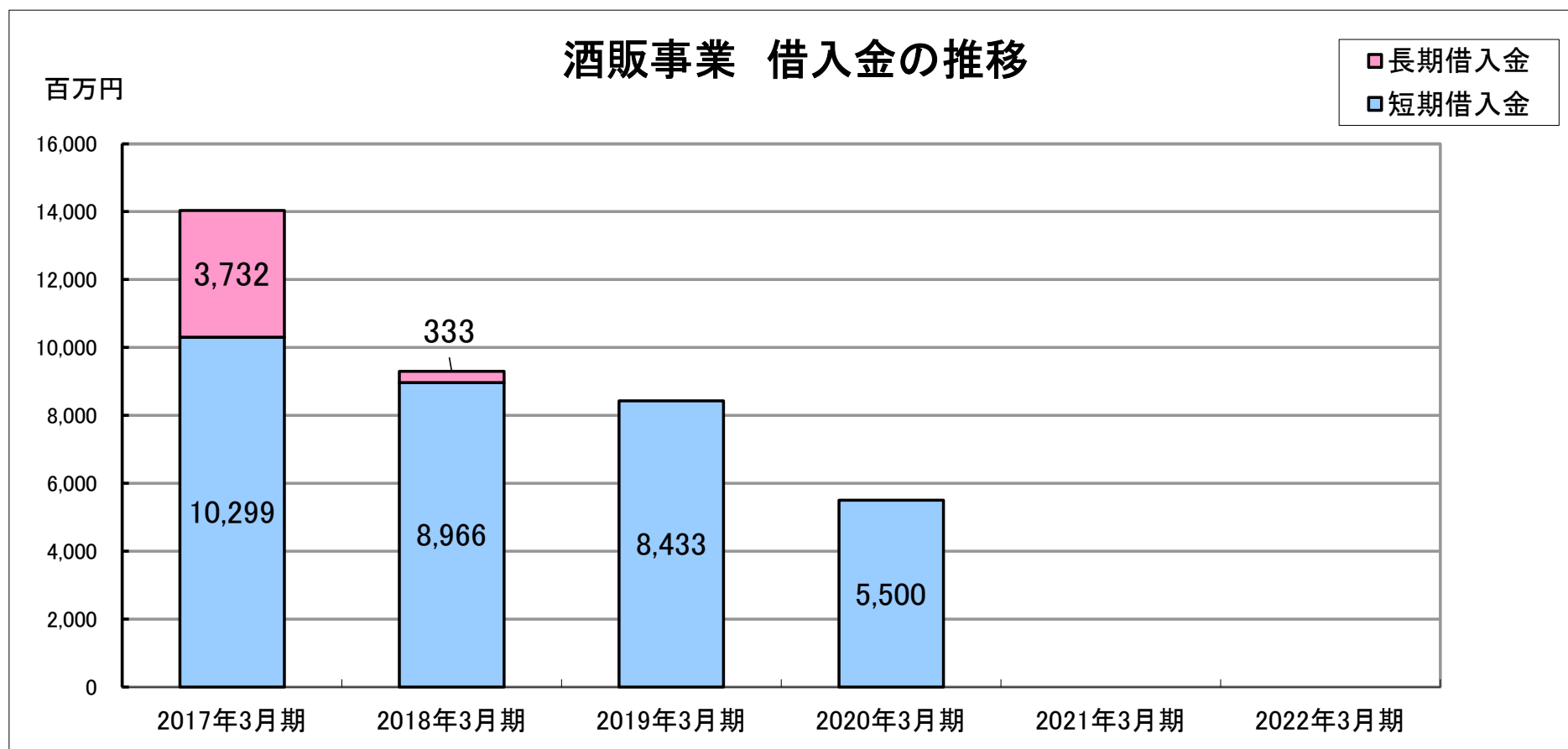
単位(百万円)

	2021年3月末	2022年3月末	前期比
流動資産	23,355	23,904	+549
固定資産	29,578	29,261	Δ 316
流動負債	14,582	12,124	Δ 2,457
固定負債	1,612	1,638	+25
純資産	36,737	39,402	+2,664
総資産	52,933	53,165	+232

酒販事業 借入金の状況

単位(百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月末	2021年3月末	2022年3月末
短期借入金	10,299	8,966	8,433	5,500	-	-
長期借入金	3,732	333	-	-	-	-
合計	14,032	9,299	8,433	5,500	-	-



株式会社やまや 株式の状況(2022年3月31日現在)

■ 株式の状況

- ・発行可能株式総数 35,000,000株
- ・発行済株式総数 10,847,870株
- ・株主数 17,872名

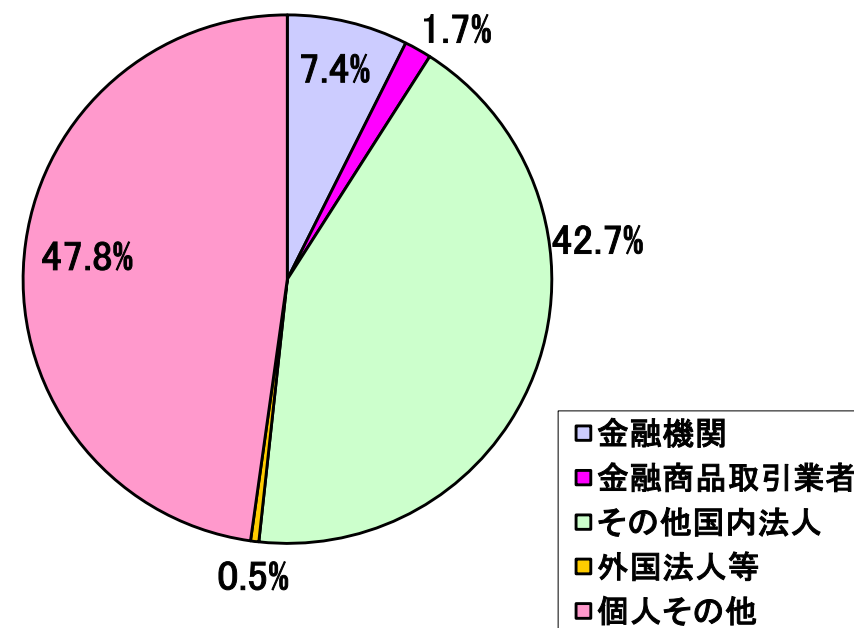
■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数 (株)	持株 比率 (%)
山内コンサルタント(株)	2,476,000	22.83
山内英靖	2,169,640	20.01
イオン(株)	2,072,730	19.11
日本スタートラスト信託銀行(株) 信託口	342,300	3.15
山内浩晶	325,060	2.99
(株)七十七銀行	220,000	2.02
山内英房	197,960	1.82
SMBC日興証券(株)	90,400	0.83
山内一枝	85,800	0.79
(株)日本カストディ銀行(信託口)	73,100	0.67

※持株比率は自己株式6,222株を控除して計算しております。

■ 所有者別株主分布状況

金融機関	802,810株
金融商品取引業者	179,940株
その他国内法人	4,627,341株
外国法人等	56,515株
個人その他	5,181,264株
合計	10,847,870株



外食事業 2022年3月期実績

●外食事業 2022年3月期実績

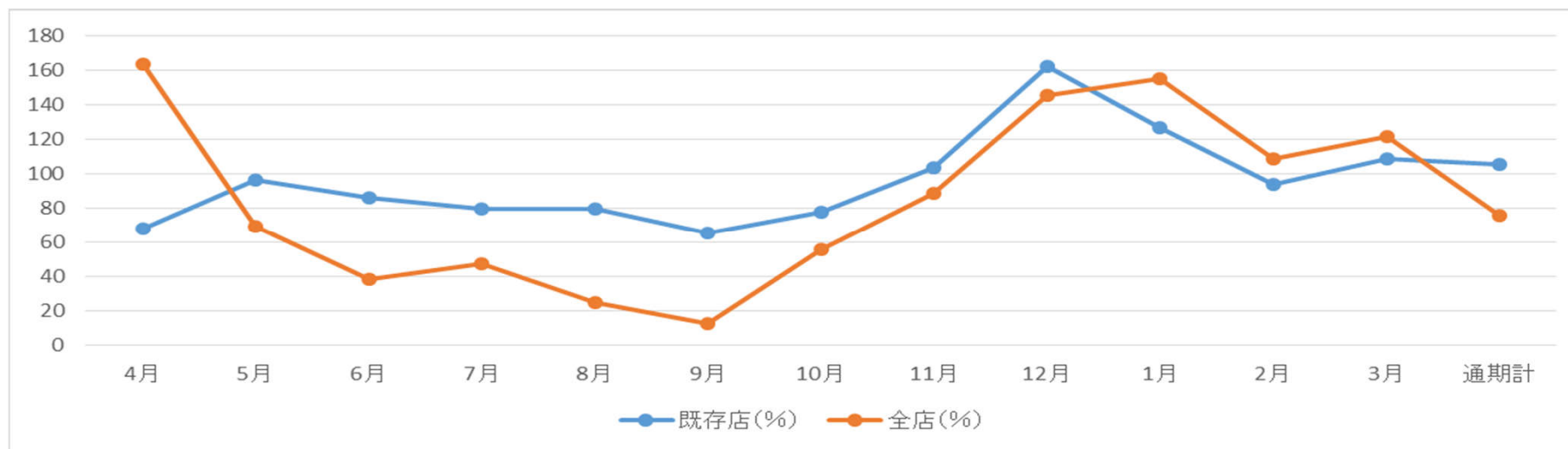
- 売上高 121.3億円(前期は 157.6億円)
- 営業利益 Δ 42.8億円(前期は Δ 64.9億円)

単位(百万円)

項目	2021年3月期 (前年)	構成比	2022年3月期 (当年)	構成比	前期比
売上高	15,764	-	12,133	-	-
売上総利益	10,388	65.9%	7,965	65.6%	Δ 23.3%
販管費	16,879	107.1%	12,247	100.9%	Δ 27.4%
営業利益	Δ 6,490	-	Δ 4,282	-	-

外食事業 チムニー(株) 2022年3月期 直営店動向

2022年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通期計
既存店対前年比 (%) 売上	68.0	96.4	86.2	79.8	79.6	65.8	77.6	103.8	162.5	126.7	94.0	108.6	105.6
客数	70.4	105	93.8	88.1	86.9	80.4	83.0	99.9	145.2	119.3	93.7	105.6	102.8
客単価	96.6	91.9	91.9	90.6	91.6	81.8	93.4	104.0	111.9	106.2	100.3	102.8	102.7
全店対前年比 (%) 売上	163.7	69.8	38.6	47.8	25.3	12.7	56.0	89.0	145.7	154.8	108.5	121.5	76.2
客数	160.8	72.2	46.8	55.7	33.0	20.9	61.0	84.8	129.0	137.3	108.9	116.8	77.9
客単価	101.8	96.7	82.4	85.9	76.9	60.8	91.8	105.0	113.0	112.7	99.6	104.0	97.8
店舗数 (店)	366	365	364	360	350	343	342	378	375	336	337	332	-
うち 既存店カウント店舗数	112	23	75	136	65	51	169	232	232	129	96	114	-
(うち直営)	23	7	30	68	34	29	99	157	157	70	63	80	-
(うちコントラクト)	89	16	45	68	31	22	70	75	75	59	33	34	-

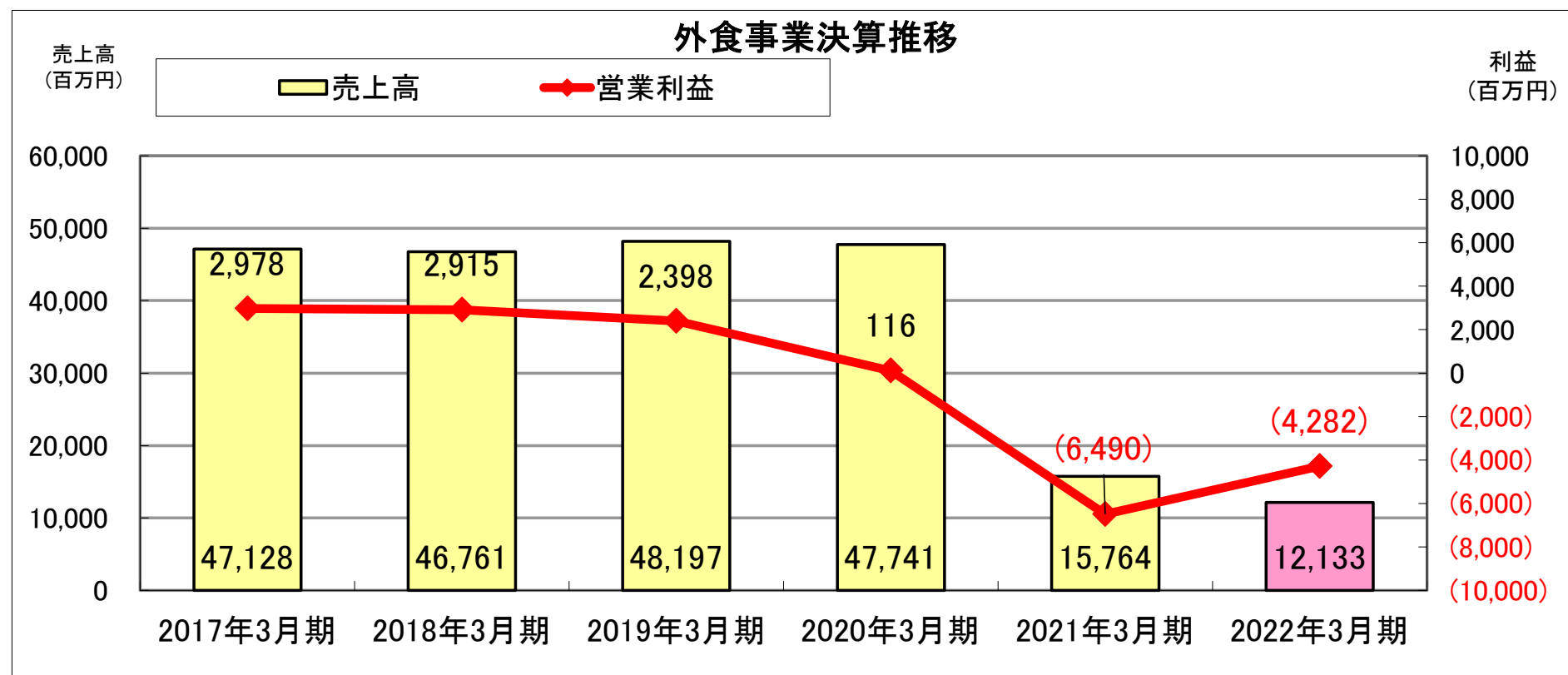


- ◆ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、各自治体の要請に従い、臨時休業もしくは時短営業を実施いたしました。(休業割合 48.9%)
- ◆ 緊急事態宣言・まん延防止重点措置の発出の全体の期間。地域によって、発出の有無・期間は違います。
 - ・2021年4月5日～9月30日 まん延防止等重点措置、4月25日～6月20日および7月12日～9月30日 緊急事態宣言
 - ・2022年1月9日～3月21日 まん延防止等重点措置
- ◆ 既存店は、開店月を除き13ヶ月を経過している店舗で、かつ規定休業日以外をすべて営業した店舗としております。

外食事業 決算推移

単位(百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
売上高	47,128	46,761	48,197	47,741	15,764	12,133
営業利益	2,978	2,915	2,398	116	△6,490	△4,282



E.O.F

【本資料に関する注意事項】

本資料は、本年5月12日に発表しました「2022年3月期 決算短信」の参考資料として、2022年3月期 決算短信の業績動向を補足説明することを目的として作成したものです。本資料に掲載されている株式会社やまや及び連結の業績見込み、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、事業等のリスクや不確実な要因によっては、大きく変化する可能性があります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

また、本資料は、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断に基づいて行っていただきますよう、お願い申し上げます。

注意事項

この説明会資料に掲載されている、現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確定な要素を含んでおります。これらは、現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいたものであり、実際の業績等は、さまざまな要因により、見通しと大きく異なる結果となりうることをあらかじめご了承ください。

掲載内容には細心の注意を払っておりますが、当社および情報提供元は、情報の完全性、正確性、確実性、有用性、その他の保証を行うものではありません。掲載された情報の誤りによって生じた障害等に関して、当社は事由の如何を問わず一切責任を負いません。

なお、この説明会資料は投資勧誘を目的としたものではありません。実際の投資の際は、当情報に全面的に依拠することなく、皆様ご自身のご判断でお願い申し上げます。